

横浜緑リーグ馬場会長杯争奪少年野球大会競技運営規則

横浜緑リトルシニア野球協会

1. 試合の運営に関する統制は横浜緑リトルシニア野球協会にて行います。
2. ファウルボールは直ちにベンチに近いチームが取りに行くこととします。
3. ベンチは組み合わせの若い番号を一塁側とします。
4. 試合中はゲームに直接関係ない応援の父兄はベンチに入れません。
5. 定められた者以外はベンチの白線よりみだりに出てはいけません。
6. 試合開始予定時刻前でも前の試合が終了後20分経たら開始します。
7. (1) 試合は**1時間25分**の制限時間をもって、7回戦以内の新しいイニングには入りません。

(2) 規定時間を過ぎ同点の場合は以下のタイブレーク方式をとります。

- ・打順1番の選手が3塁走者となり
- ・打順2番の選手が2塁走者となり
- ・打順3番の選手が1塁走者とし、1アウトから
- ・打順4番の選手から攻撃を行います。

この特別ルールに入る時点の守備位置、打順は試合終了まで変更はできず、また選手の交代もできません。但し選手が負傷等で出場出来ないと審判が判断した場合に限り、控えの選手との交代を認めます。

尚、当該ルールによる試合は時間に関係なく決着がつくまで行います。

(3) 1時間25分の制限時間内において7回戦が終了し同点で、且つ時間が残っている場合は8回戦より上記の特別ルールを行います。

8. 点差によるコールドゲームは4回10点差、5回以降は7点差とします。
9. スポーツマンシップにのっとり相手チームを誹謗したり、やじったりしてはいけません。
10. 試合前のシートノックは後攻側のチームから5分間ずつとします。
11. 選手の交代は、必ず当日登録の監督が球審に申し出ることとします。
12. 出場選手の中には**必ず小学6年生を3人以上**含むこととします。
13. 抗議は監督と主将・当該選手のみとしますが、判定に関する抗議は一切認めません。
14. 使用球は、C号球とします。
15. 選手の危険予防及び健康管理についてはチームにおいて十分に留意して下さい。
事故に対する責任は当協会として関知しません。
16. 投手の投球については変化球を投げないよう指導徹底します。
17. 当大会の**決勝戦は点差によるコールドゲームは適用しません。**試合は1時間25分を優先し
同点の場合は制限時間の範囲内で9回までとし、以降は7項目(2)を適用します。

以上の規則の遵守、徹底を宜しくお願い申し上げます。